

番号	1-1-1		表題	ポンプ排水への変更と併せて実施する管渠の動水位を評価した効率的な再構築		
内容	<p>台東区の大部分は、隅田川周辺の低地にあり、古くから浸水被害が繰り返し発生してきた。北部下水道事務所では、雨水をポンプで放流するポンプ排水への変更と併せ、管渠の老朽化対策を実施する再構築事業を進めている。ここでは、台東区元浅草周辺の実施設計より、ポンプ排水への切り換えについて紹介する。</p> <p>該当エリアの面的な再構築手法は、下記に示す浸水発生状況や周辺状況を考慮して、管渠の圧力状態を許容する「老朽化対策先行整備」とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ所、増強幹線、主要枝線など基幹施設の整備により、浸水は概ね解消している。 ・店舗や飲食店等の施設が多く立地する周辺状況、軟弱な地盤状況から開削工法による布設替えが容易ではない。 <p>隅田川周辺の低地は、ポンプ排水に変更する流域であるが、既設管（自然排水）の一部を有効利用することで、河川水位に応じたポンプの運用を行える可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川水位が低い時は、既設管を活用した自然排水を行う。 ・河川水位が高く吐口の逆流防止ゲートが閉鎖された時は、既設管と増強幹線を活用したポンプ排水を行う。 ・ポンプ排水を河川水位が高い時だけに限定することで、エネルギー削減に寄与する。 					
キーワード	再構築整備手法、通常整備、老朽化対策先行整備、自然排水、ポンプ排水					
処理区名	三河島処理区	位置区分	管きよ、ポンプ所			
職種区分	土木	施策区分	浸水対策、効率化			
状態区分	設計	新規性				
実施年度	平成 30 年度	全体期間	平成 30 年度～令和 1 年度			
担当部署	北部下水道事務所 再構築推進課 事業調査担当					
発表履歴	局内	令和 2 年度 設計・工事事例発表会				
	局外	平成 2 年度 第 57 回下水道研究発表会				
調査方法	委託調査					
関連情報						